

## 小山 竜宇氏の略歴

2003年、ニュージーランドに渡り、国立リンカーン大学、ブドウ栽培・ワイン醸造学部 (Bachelor of Viticulture and Oenology, Lincoln University) 入学。在学中、2004年2月より、ニュージーランド南島、ワイパラ・ヴァレーのマウントフォード・エステート (Mountford Estate) にてセラーハンドとして就業。2006年、リンカーン大学卒業。2007年よりマウントフォード・エステート、アシスタント・ワインメーカー。2009年、プライベートラベルのコヤマワインズを設立。2017年、コヤマワインズがマウントフォード・エステートを買収するにあたり、コヤマワインズ/マウントフォード・エステート ワインメーカー兼マネージング・ディレクター (Winemaker/Managing Director) 就任

その他の主な醸造経験：

2005年、オーストラリアのハンターバレー (Hunter Valley) にあるマウント・エア・ヴィンヤード (Mount Eyre Vineyard <http://mounteyre.com/>)。

2006年、ドイツのラインヘッセン (Rheinhessen) 地方にある、ケラー醸造所 (Weingut Keller <http://www.keller-wein.de/>)。

2007年及び2008年、アメリカのカリフォルニア州にあるオーボンクリマ (Au Bon Climat <http://www.aubonclimat.com/>)。

## コヤマワインズ (Koyama Wines Limited) について

コヤマワインズは、2009年に、南島のワイパラ・ヴァレーに設立された。

地元の優良葡萄栽培農家から葡萄を購入し、収穫から瓶詰までを、すべて手作業で行い、高品質のワインを作り続けている。

コヤマワインズの過去の主な受賞歴

2015年、International Wine Challenge Silver Medal

2016年、International Wine Challenge Silver Medal

2016年、Decanter Magazine World Wine Award Silver Medal 等々。

生産量: 年間約 1500 ダース

品種: ピノ・ノワール、リースリング

現在の契約農家は以下の3社。

### 1. Williams' Vineyard

1990年代、ワイパラ・ヴァレーのワイナリー、Muddy Water の栽培責任者

であった Gwyn Williams 氏が、2000 年に設立。ワイパラ・ヴァレー東側の、石灰岩・粘土質土壌の約 3ha の畑で、ピノ・ノワール種のみを栽培。

主なクローンは Abel, UCD5, Dijon 115, Dijon 667, Dijon 777.

## 2. Pearson's Vineyard

元、競走馬の調教師であり、その後リンカーン大学にてブドウ栽培・ワイン醸造学を学んだ Graham Pearson 氏によって 2004 年に設立。ワイパラ・ヴァレー中央部の砂利質土壌の約 2ha の土地にピノ・ノワール種のみを栽培。主なクローンは 10/5, UCD5, Dijon 115, Dijon 667, Dijon 777.

## 3. Tussock Terrace Vineyard

元 Telecom 社のマネージング・ディレクターであった David Bedford 氏によって 2005 年に設立。ワイパラ・ヴァレーのやや西側の砂利質土壌の約 10ha の畑に、リースリング種とピノ・ノワール種を栽培。

リースリング種のクローンは主にガイゼンハイムクローン。

ピノ・ノワール種のクローンは Abel, Dijon 777, Dijon 943 の 3 種類。

2016 年より新たに器材を導入し、リースリング種単体、及び、ピノ・ノワール/シャルドネをブレンドした瓶内二次発酵によるスパークリングワインの生産に着手。リースリング種単体のものは 2017 年末にリリース予定。

## マウントフォード・エステート (Mountford Estate) について

マウントフォード・エステートは、1991 年にマイケルとバフィー・イートン (Michael & Buffy Eaton) 夫妻によって、ワイパラ・ヴァレーの東側、石灰岩粘土質土壌の丘陵地帯斜面に設立された。4ha の土地にピノ・ノワールとシャルドネをそれぞれ 2ha。2000 年より徐々に増殖し、現在は植樹面積約 10ha。内訳はピノ・ノワール 5.5ha、シャルドネ 3ha、リースリング 1ha、アルザス品種混植 (リースリング、ゲヴェルツ・トラミネール、ピノ・グリ、ミュスカ) 0.5ha。1997 年より、台湾出身の盲目の醸造家 CP Lin を醸造長として迎え、2000 年代にかけて、イギリスを始め世界各地で高評価を得る。2008 年ヴィンテージのピノ・ノワールはイギリスの著名ジャーナリストの Jancis Robinson によって、Wines of the week に選ばれる。

( <https://www.jancisrobinson.com/articles/mountford-estate-pinot-noir-2008-waipara>)。

同じくイギリスのワインジャーナリストの Mathew Jukes 氏による、ニュージーランド、ピノ・ノワール、クラシフィケーションにて 4 星を獲得。

2007 年、イートン夫妻から Kees Zeastraten 氏にオーナーが移行。2017 年に

Zeastraten 氏より、コヤマワインズが買い受け、現在に至る。

追記：

2017年4月に、コヤマワインズ(Koyama Wines Limited)が、マウントフォード・エステート(Mountford Estate)を買収した。このマウントフォード・エステートは、小山 竜宇氏がかつて修行したブドウ畑であり、ニューワールドとしては珍しく、斜面の石灰岩質土壤に樹齢26年の優良なピノ・ノワールとシャルドネが植栽されている。今後のさらなる品質の向上が十分期待できる。